

令和2年(2020年)1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2020年1月 数量 (トン)	2020年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。暖冬の影響により、生育は良好となったため、太物中心に順調な出荷により、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	608	73	104%	107%
2		はくさい	茨城県産・兵庫県産・和歌山県産・群馬県産中心の入荷でした。各産地暖冬傾向となったため、順調な出荷により、入荷量はかなり増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	663	67	125%	168%
3		きゅうり	宮崎県産・高知県産中心に、茨城県産・千葉県産からの入荷でした。日照不足の影響により、出荷が安定せず、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	221	637	85%	138%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。暖冬の影響により、前進出荷の傾向で推移し、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	82	530	97%	95%
5		馬鈴薯	九州産の長雨続きによる収穫遅れの影響もあり、入荷量はやや減少しました。暖冬傾向の影響から、平均単価はかなり安く推移しました。	287	89	94%	70%
6	果実	みかん	静岡県産が12月のヒョウ害の影響により、出荷量が減少し、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	583	261	94%	91%
7		ふじ	産地在庫が少なく、入荷量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	157	316	70%	113%
8		いちご	全国的な不作により、入荷量はかなり減少しました。平均単価もかなり高く推移しました。	103	1,878	66%	123%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上